

3. 伝統的景観・街づくり地区 の被害状況

- 1) 一本杉通り<七尾市>
- 2) 馬場崎(ばんばざき)通り<輪島市>

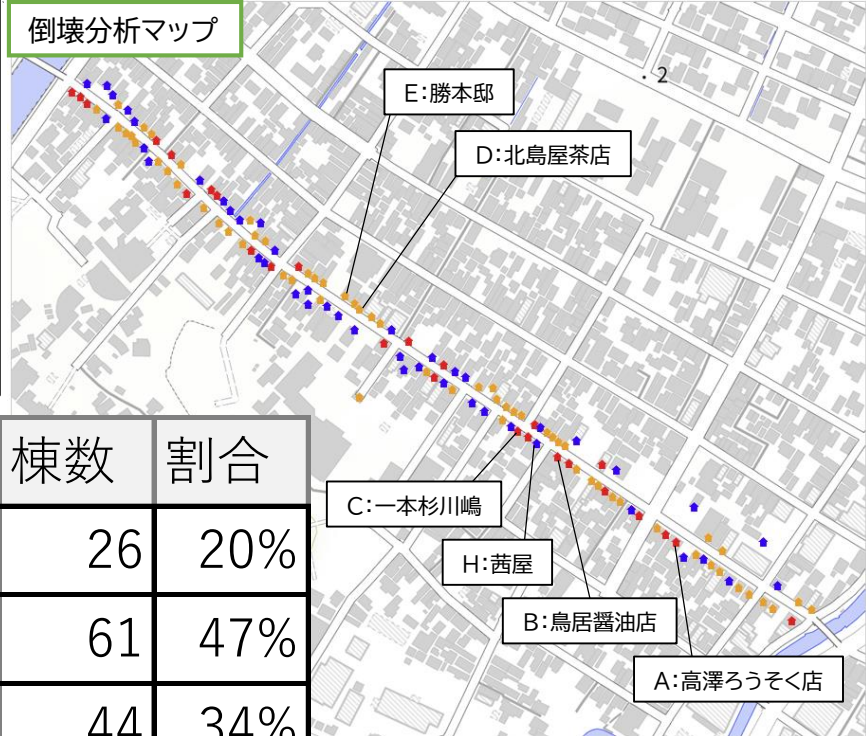
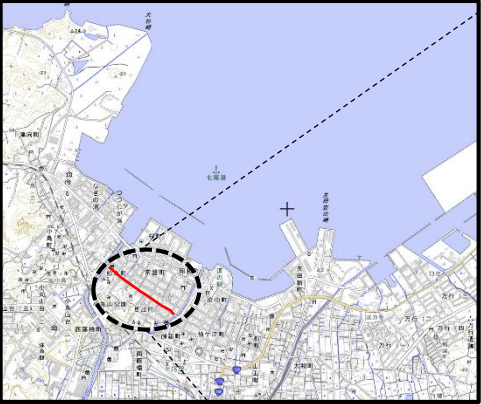
3. 伝統的景観・街づくり地区の被害状況

1) 一本杉通り <七尾市>

登録有形文化財
いしかわ景観賞

3-1) 一本杉通り<七尾市>

概要



第16回(平成21年)いしかわ景観大賞
景観賞 受賞

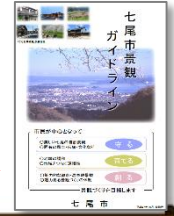


600年以上の歴史

※いしかわ景観大賞ページより

分類	棟数	割合
全壊	26	20%
半壊	61	47%
無被害	44	34%

一本杉通りは、七尾駅から徒歩5分の距離にある約500mのまっすぐな通りで、600年以上の歴史があり、能登の伝統工芸や美しい建物が集まっている。50店舗あまりの店があり、主に寄棟作りの町家が残っている。国登録有形文化財が5つも集まっており、面影が保存されてきた。



3-1) 一本杉通り<七尾市>

ち 七尾市景観ガイドライン

2015年
<七尾市>

どうやって景観をつくるの？ (建物等の基準)

七尾市景観計画で建物等についての基準が定められています。

屋外広告・看板は落ち着いた形態・材料をおおう！照明などは過剰な明るさにならないようにしましょう！

周囲の建物や屋根・軒先など、まちなみとの調和に配慮しよう！屋根・壁などは、周辺と調和する素材や質感等となるようにしましょう！

敷地内の樹木等は極力保全し、周囲の景観緑化に配慮しよう！

自動販売機や室外機等は、できるだけ自立しないところに置こう！自立つ場合は囲み等の工夫をしよう！

庭木やプランター等を活用して建物と一体的に緑化することで圧迫感を和らげよう！

建物を囲む塀や生垣は地域になじむものを使おう！

山や林のスカイラインを切る盛土や切土は行わないようにしましょう！

背後に良好な景観等がある場合は、生垣等が高くなりすぎないようにしよう！

建物や山を損なわない高さや配置にするなど自然景観に配慮しよう！周囲を生垣等で囲むなど、自然景観との調和を図ろう！

家屋以外の車庫、物置等も家屋や周囲と馴染むものようにしましょう！

屋外駐車場は、できるだけ出入り口を限定し、生け垣等によって周囲から車が見えにくくなるようにしましょう！

どうやって景観をつくるの？ (色彩の基準)

七尾市景観計画で色彩についての基準が定められています。

外壁や屋根には、明るさや鮮やかさを抑えた色を使い、周辺のまちなみや自然景観に馴染むようにしましょう！

まちなみや建築物形態に配慮した配色や色数にしよう！

光沢のある塗料、タイルや反射の強い金属等はできるだけ少なくしよう！

祭事やイベントは地域の歴史や季節の賑わいを演出するので、大切にしよう！

屋外設備、工作物(看板等)、自動販売機等の色も目立ち過ぎないようにしよう！

のれんや看板、建築物等の小面積には、強調色や自然素材を活かしたり、草花や庭木でアクセントをつけよう！

○色彩の数値基準と表記方法

七尾市景観計画では **色彩の基準をマンセル値** で表現しています。

マンセル値：国際的な色彩の尺度である「マンセル表色系」により、色相(色あい)・明度(明るさ)・彩度(鮮やかさ)の3つの属性によって色彩を表現した値。(例：5YR7/3=色相5YR、明度7、彩度3)

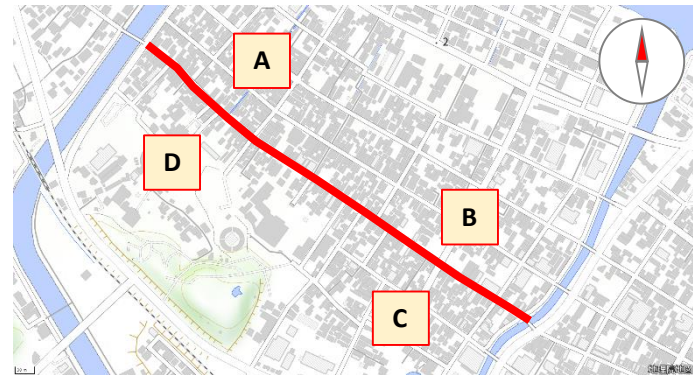
建築物等の外観の基調色の数値基準(マンセル値)

属性	景観計画区域内	特別地域内						
		(1)のと里山海道沿線 能越自動車道沿線			(2)のと聖海エリア			
		外観			うち屋根部分			
色相(色あい)	全色相	0.1R~5Y	5.1Y~10Y	その他	2.6R~5YR	0.1R~2.5R 5.1YR~10YR	その他	全色相
明度(明るさ)	8.5以下	3~8.5	3~8.5	3~8.5	3~7	3~7	3~7	5以下
彩度(鮮やかさ)	6以下	6以下	4以下	2以下	6以下	4以下	4以下	1以下

※特別地域(2)のうち、市街地等は特別地域(1)の基準を適用する。
※外観の基調色：建築物等の外壁の大部分を占める部分の色。

1-2) 一本杉通り<七尾市>

震災後の写真



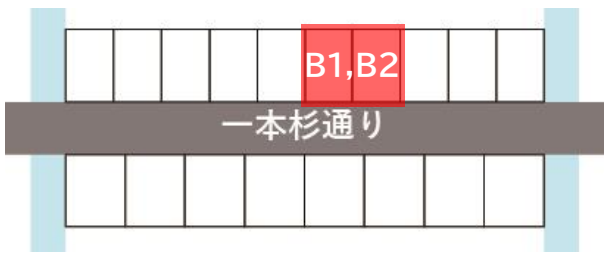
郵便局側



薬局側

※Googleマップより

■次ページ以降の表示位置凡例



1-2) 一本杉通り<七尾市> A1-A4

A1,A2,A3,A4																				
一本杉通り																				

A1



A2



A3



A4



1-2) 一本杉通り<七尾市> B4-B5

										B4,B5
一本杉通り										

B4



B5



1-2) 一本杉通り<七尾市> C1-C4



C1 薬局側



C2



C3



C4



1-2) 一本杉通り<七尾市> D1-D4

一本杉通り									
D4,D3,D2,D1									

D1



D2



D3



D4



3-1) 一本杉通り<七尾市> 震災後の状況



3-1) 一本杉通り<七尾市> 登録有形文化財



国登録有形文化財

一本杉通りにあるそれぞれの時代の面影を残す、貴重な建物が今現在も商店や住まいとして活躍しています。

※一本杉通り パンフレット
「のれん/語り部処探訪」より

1910(M43)年頃

1908(M41)年頃

1932(S7)年頃

1904(M37)年頃

1897(M30)年頃



A 高澤ろうそく店

明治43年頃に建造。当時の面影を残す数少ない土蔵造りの情緒ある重厚な建築物。

B 烏居醤油店

藩政時代から続く商家が明治38年の七尾大火で消失。明治41年に再建された。

C 一本杉川嶋

昭和7年頃建造された万年筆の形態を造形化したユニークな外観の看板建築。

D 北島屋茶店

明治37年頃建造。紅柄色の格子戸と伝統的な腕木構造は典型的な七尾町家。

E 勝本邸

明治30年頃建造。ナカノ間上部の吹抜けに架かる指物(梁・束・貫)が見事。



※READYFORより

A,B,D,Eは、主に明治後半の建築物。寄棟の町家づくりで、開口間口が大きく、柱無しの深い「通り庇」を有している。重い瓦を柱無しで支えているのは「通し腕木」の様式で、明治以降に確立した様式が採用されている。Cは、元万年筆屋の意匠を施した木造の看板建築。

3-1) 一本杉通り<七尾市> 地震に強かった家



B:鳥居醤油店

1908(明治41)年頃

H:茜屋

2006(平成18)年頃

C:一本杉川嶋

1932(昭和7)年頃

※Googleストリートビューより



『七尾市景観ガイドライン(2015年)』は町家づくりの風情をイメージして策定されたと思われる、周辺との調和を目的として屋根・庇・塀などの建物の基準と色彩基準を定められている。
町家づくりの建築物には崩壊や大きな残留変形が多くみられ、2006年築(洋風外観)のH.茜屋は無被害だった。

3-1) 一本杉通り<七尾市>

まとめ

- 『七尾市景観ガイドライン(2015年)』の策定をみても、明治後期からの100年以上の歴史的建築物と街並みの保全に対して、積極的に取り組んできたと思われる。一本杉通り振興会という地域のコミュニティの協力も固く、取り組みを続けてきており、第6回ティファニー財団賞・伝統文化大賞(2007年創設、12の団体が受賞)も受賞している。
- 官民の協力があり、街づくりが活発であったにも関わらず、大地震により大きな被害を受け、概ね20%の建物において崩壊や大きな残留変形がみられた。

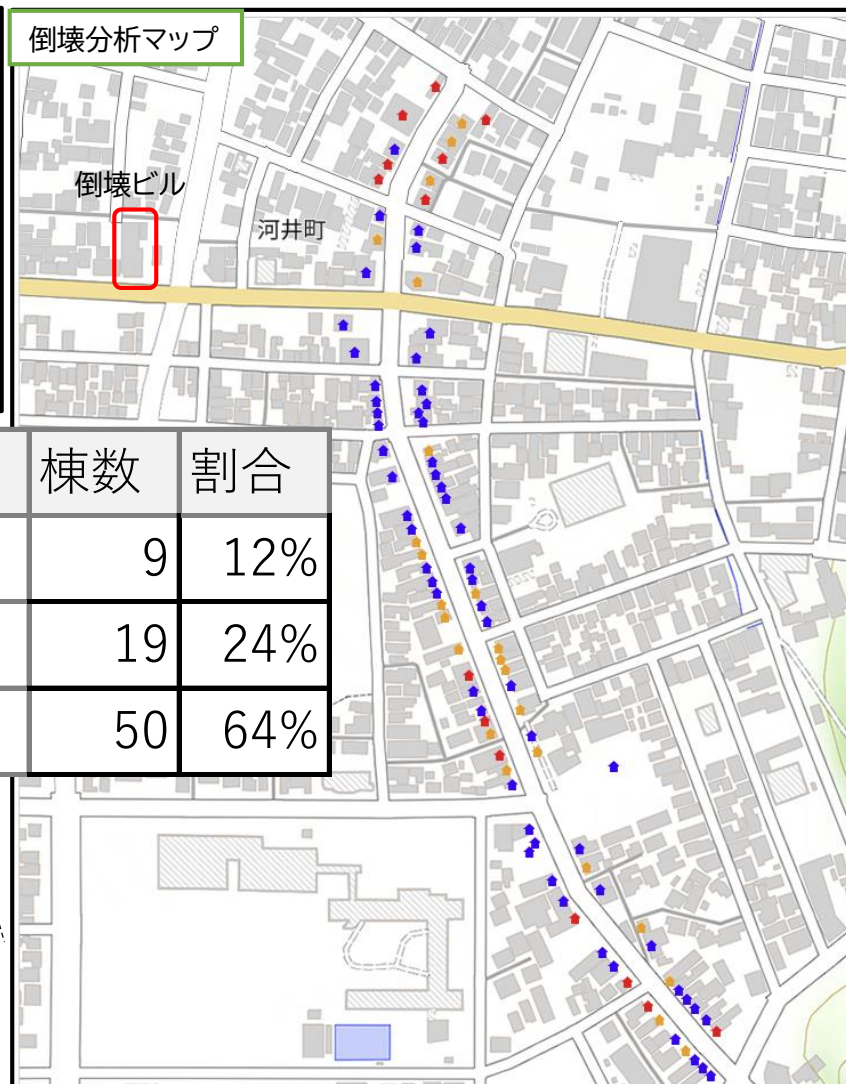
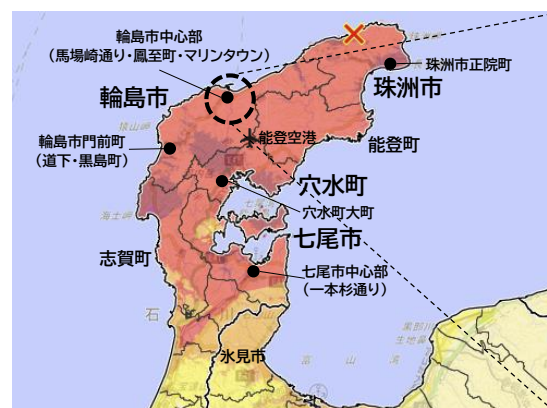
3. 伝統的景観・街づくり地区の被害状況

2) 馬場崎(ばんばざき)通り ＜輪島市＞

いしかわ景観大賞

3-2) 馬場崎通り<輪島市>

概要



第13回(平成18年)いしかわ景観大賞
景観大賞 受賞

街路事業:1996(H8)~2009(H21)年



いしかわ景観大賞
ページより

馬場崎通りは、旧輪島駅から輪島朝市までの行く途中にあり、『輪島景観重点地区修景整備事業』による補助対象地域として指定されている。建築物や工作物の修景行為(外観工事)について、市がその経費の一部を補助したもの。補助事業は、景観の美しさと独自性を維持し、地域の魅力を高めることを目的としている。

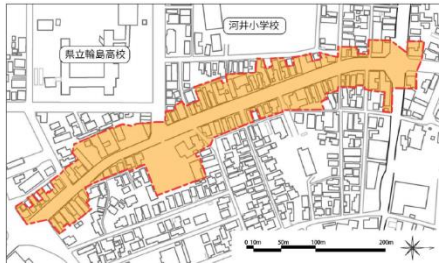


3-2) 馬場崎通り<輪島市>

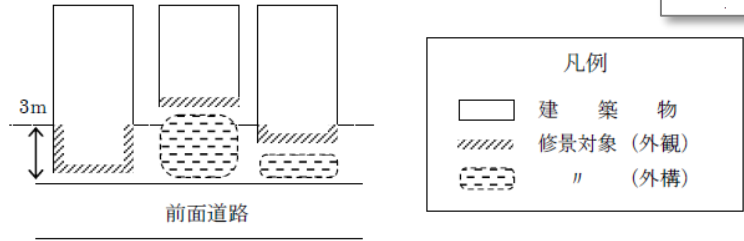
い 輪島景観重点地区修景整備事業取扱指針

▼対象地区

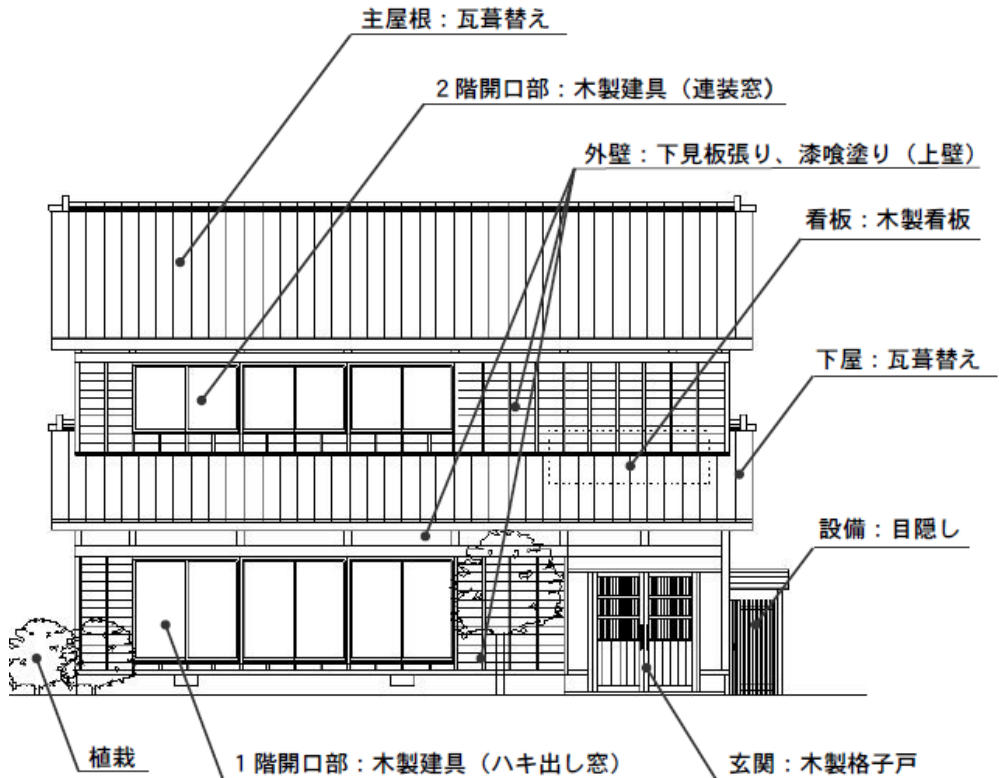
- ①馬場崎・駅前地区
- ②鳳至上町地区
- ③總持寺周辺地区
- ④まんなか地区
- ⑤間垣の里地区
- ⑥長山地区



▼補助対象とする建築物の範囲



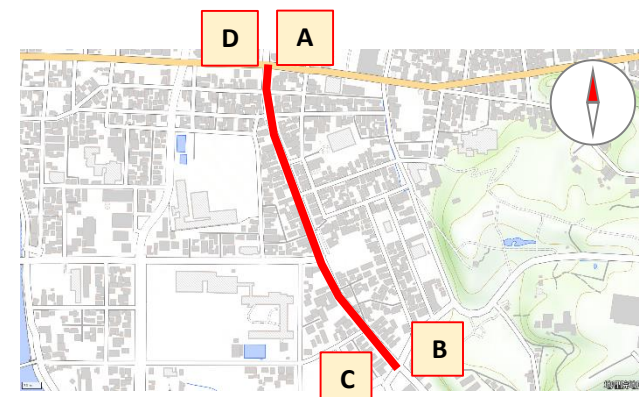
▼補助対象工事のイメージ



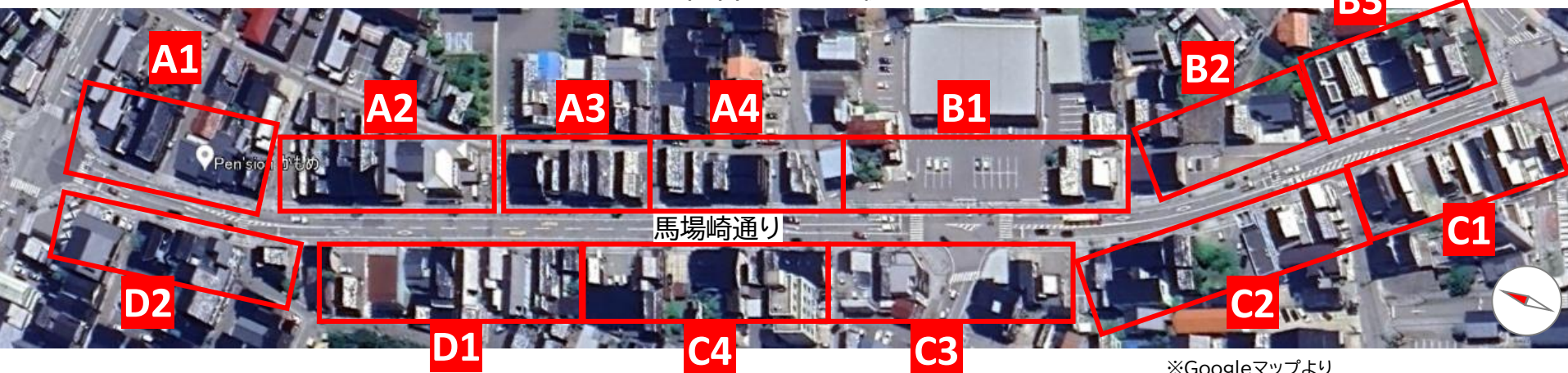
①馬場崎・駅前地区

区域		馬場崎・駅前地区
建築物に関する協定	共通事項	こころの「調和」 みんなしてもうちょっこり いいまちにせんけーね
	壁面後退	道路境界線から1.0m後退して建てましょう
	形態	輪島らしい構造 ・輪風、2～3階建て、軒先の高さはまわりとバランスをとる、切り妻（妻入り・平入り） ・浜屋づくりを振り返るものとする ・伝統を超える新しい美を創出する
	色彩	輪島らしい素材・色 ・地場の素材と色を基調とする
共有財産に関する協定	装飾	輪島らしい装飾 ・風土や先人の知恵・意匠を生かして工夫する
	隣地境界	・ナカシャはお互い25cmずつ空けて、最低50cmは確保する
	建物前面の工夫	・前庭や庭先にうおいを創出する
店舗に関する協定	その他	訪れる人への輪島らしい工夫 ・まちの個性を生かした休憩できるポケットパークや案内板、街路灯を工夫する
	店づくり	・まちなみと調和を生かした店づくりを考慮する
	ディスプレイ	・まちなみの魅力をアップするディスプレイを考慮する
	職の見せ方	・まちを歩く人と輪島弁で会話できる、そんな職の見せ方を考慮する
	バリアフリー	・誰もが店に入れるように、入り口の段差をなくし、通路も広くとる
	看板・広告 自動販売機	・個性を出しながらも自己主張しすぎないよう、まちなみに配慮する

3-2) 馬場崎通り<輪島市> 震災後の写真



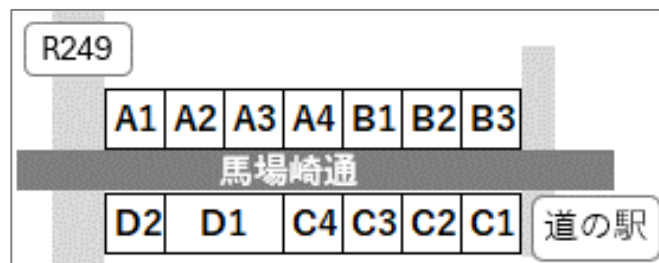
笹谷プロパン側



※Googleマップより

道の駅側

■次ページ以降の表示位置凡例



3-2) 馬場崎通り A1-A4

R249

A1 A2 A3 A4 B1 B2 B3

馬場崎通

C2 C1 道の駅

A1



A2



A3



A4



3-2) 馬場崎通り B1-B3

R249	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3
馬場崎通り							
D2	D1	C4	C3	C2	C1	道の駅	

B1



B2



B3



3-2) 馬場崎通り C1-C4

R249	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3
馬場崎通り							
D2	D1	C4	C3	C2	C1	道の駅	

C1



C2



C3



C4



3-2) 馬場崎通り D1,D2

R249	A1	A2	A3	A4	B1	B2	B3
馬場崎通り							
D2	D1	C4	C3	C2	C1	道の駅	

D1



D2



3-2) 馬場崎通り<輪島市> 震災後の状況



3-2) 馬場崎通り<輪島市> 地震に強かった家

建築年:2004(平成16)年頃



2007年被災直後



2024年

建築年:2019(令和1)年頃



2024年



3-2) 馬場崎通り<輪島市>

まとめ

- 『輪島景観重点地区修景整備事業』により、建築物の外観に対して様々な基準が設けられていたが、耐震性にかかる基準は設けられていなかった。
- 前述の整備事業により、道路の再整備として、セットバックによる道路拡幅と歩道整備、電柱の地中化なども行われたので、その際に耐震性についての検討を行った既存建築物が多かったかもしれない。
- 通りに面する建物については、概ね12%の建物に崩壊や大きな残留変形が多くみられた。

令和6年 能登半島地震
調査レポート
Ver. 2.1

2024年08月08日

※記載内容の複写、複製(コピー等)を禁じます

【著作 / 発行】



INTEGRAL[®]

株式会社インテグラル
株式会社インテグラルテクノロジー
茨城県つくば市学園南2-7
電話: 029-850-3331